

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課

担当課長名：高松 諭

事業名	一般国道8号 松任拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局	
起終点	自：石川県白山市乾町 至：石川県白山市宮丸町				延長	3.5km	
事業概要	<p>一般国道8号は、新潟県新潟市を起点に日本海に沿って北陸地方の主要都市を結び、京都府京都市へ至る主要幹線道路である。</p> <p>このうち、一般国道8号松任拡幅は、石川県白山市における日交通量が多く混雑度が高い4～5車線区間（延長3.5km）の6車線化事業である。</p>						
H31年度事業化	S49年度都市計画決定		R4年度用地着手		工事未着手		
全体事業費	120億円		事業進捗率 (令和5年3月末時点)	4%	供用済延長	— km	
計画交通量	40,300～63,700台/日						
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 3.4 (残事業) 3.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 99/107 億円 〔事業費：88/95 億円 維持管理費：11/11 億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 363/363 億円 〔走行時間短縮便益：322/322 億円 走行経費減少便益：36/36 億円 交通事故減少便益：5.1/5.1 億円〕	基準年 令和5年			
感度分析の結果	<p>(事業全体) (残事業)</p> <p>交通量：B/C=2.9～3.7（交通量±10%） 交通量：B/C=3.1～4.0（交通量±10%）</p> <p>事業費：B/C=3.1～3.7（事業費±10%） 事業費：B/C=3.4～4.0（事業費±10%）</p> <p>事業期間：B/C=3.3～3.5（事業期間±20%） 事業期間：B/C=3.6～3.7（事業期間±20%）</p>						
事業の効果等	<p>① 物流の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> 石川県南部には、県内の海外貿易企業のうち、約4割が立地している 石川県南部から金沢港への物流車両の利用経路は、一般国道8号が多いが、渋滞により円滑な物流を阻害 渋滞解消に伴う通過時間の短縮により、物流の効率化を支援 <p>② 周辺地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規事業化以降、周辺地域では市街化区域の編入により、工業団地の拡大や大型商業施設の開業などが進んでいる。 						
関係する地方公共団体等の意見	知事の意見： 国道8号は、本県における物流や広域交流の大動脈であり、加賀地域の物流の円滑化や産業振興を図るうえで、極めて重要な路線である。 このうち松任拡幅の事業区間については、朝夕や休日を中心に交通混雑が発生しており、また、山側幹線と海側幹線に接続する交通の要衝であり、今後さらに交通量の増加が見込まれることから、早期6車線化が不可欠である。 このため、国道8号松任拡幅については、引き続き事業を継続し、早期の事業効果発現に向け、コスト縮減に努めながら着実に整備を進め、早期完成を図っていただきたい。						
事業評価監視委員会の意見	・審議の結果、再評価及び対応方針（原案）のとおり、事業継続することが妥当。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・令和2年度金沢外環状道路一般国道8号海側幹線（今町～鞍月）が事業化された。						

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業の進捗状況：用地進捗率1%、事業進捗率4%（令和5年3月末時点）
- ・残事業の内容：調査設計、用地買収、改良工事

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・白山市乾町～同市宮丸町（延長3.5km）の早期全線6車線開通に向けて事業を推進

施設の構造や工法の変更等

- ・コンクリート二次製品の活用によるコスト縮減を図る

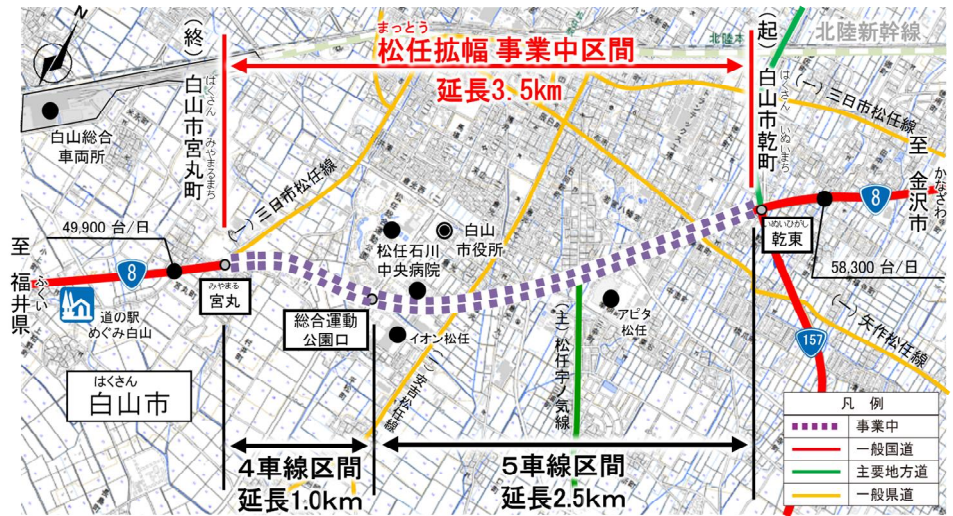
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・現時点においても、その必要性、重要性は変わっておらず、事業進捗の見込みなどからも、引き続き事業を継続することが妥当であると考える。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。